

雑誌記事索引データベース ざっさくプラス

総合雑誌から地方誌まで、明治から現在まで
The Complete Database for Japanese Magazine and Periodicals from Meiji Era to the Present.

独自に本文画像の登載をスタート。
連携先DBへの本文リンクも強化中!



雑誌記事索引データベース
ざっさくプラス
総合雑誌から地方誌まで、明治から現在まで
The Complete Database for Japanese Magazine and Periodicals from Meiji Era to the Present.

検索記事
総数
20世紀メディア情報DB連携時 **31,479,444**件
20世紀メディア情報DB非連携時 **29,514,547**件

ログアウト

簡易検索 | 詳細検索 | 図版検索

検索キーワードを入力してください

表示件数 ☒ 20件 ☐ 50件 ☐ 100件

☐ CiNiiと連携する ?

全データのうち「論題名」と「執筆者名」をAND検索します。「論題名」「執筆者名」「雑誌名」など、検索項目を指定して検索する場合は「詳細検索」を使います。

検索

昔の雑誌も、
今の雑誌も。

まじめな雑誌から、
ちょっと変わった
雑誌まで!

本文が読める
雑誌も増えてます!

雑誌を調べるなら、
まずはざっさくプラスで検索してみよう!

【公共図書館様向け】

X アカウントで
新規登録誌を
発信しています!



@zassakuplus

株式会社
皓星社



雑誌記事索引データベース

ざっさくプラスとは？

ざっさくプラスは、明治初期から現在までに日本国内（旧植民地を含む）で刊行された雑誌の記事を調べられるデータベースです。1990年代に刊行した『明治・大正・昭和前期 雑誌記事索引集成』（全120巻）のweb版として、2008年にサービスを開始しました。

それから進化をつづけ、今では雑誌記事検索のデファクトスタンダードとして定着しています。2025年5月現在、大学図書館を中心に、国内約130機関、海外65機関で採用されています。

ざっさくプラスは、人文／社会科学を中心に、調査・研究の役に立つデータベースを目指し日々改良を重ねてきました。独自データの充実はもちろん、他の雑誌本文閲覧サービスとも積極的に連携を進めています。

さらに2024年度は、独自の本文画像データの登載を開始しました。

なお、ざっさくプラスが登載対象とする「日本国内の雑誌」には、旧植民地や「外地」で刊行された日本語雑誌も含まれます。植民地時代も含めて日本で発行されたすべての雑誌を検索できるデータベースを目指しています。

こんな雑誌を収録しています ～登載誌の一例～

1 総合



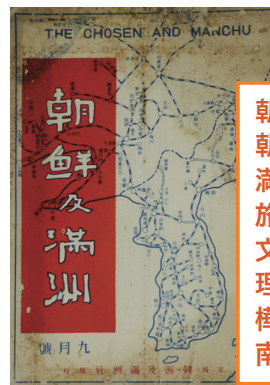
太陽
中央公論
日本及日本人
文藝春秋
改造
世界
展望
流動

2 文芸



都の花
文学界
新青年
新日本文学
別冊新評
推理界
野性時代
コバルト

3 旧植民地・外地



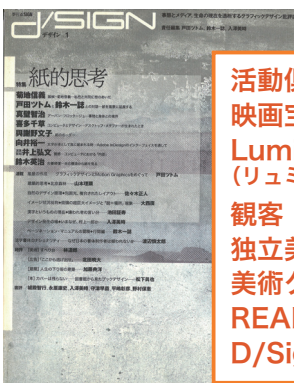
朝鮮及満洲
朝鮮公論
満洲評論
旅行満洲
文芸台湾
理蕃の友
樺太
南洋群島

4 郷土史・地方



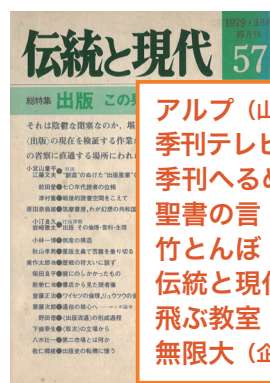
庄内民俗
下野史談
街の手帖池上線
高志路
北陸人類学雑誌
文化高松
I love Miyazaki
沖縄教育

5 芸術・芸能



活動倶楽部
映画宝庫
Lumiere
(リュミエール)
観客
独立美術
美術グラフ
REAR
D/Sign

6 その他



アルプ (山岳)
季刊テレビ研究(学芸)
季刊へるめす(思想)
聖書の言(宗教)
竹とんぼ(玩具趣味)
伝統と現代(特集主義)
飛ぶ教室(児童文学)
無限大(企業PR誌)

以下のデータベースの雑誌部門とざっさくプラス独自データを一度に検索できます。

※連携タイトルはデータベース毎に異なります。詳細はお問合せ下さい。

『雑誌記事索引』
国立国会図書館サーチ
NDL SEARCH

国立国会図書館デジタルコレクション
NDL DIGITAL COLLECTIONS

CiNii Research

J-STAGE

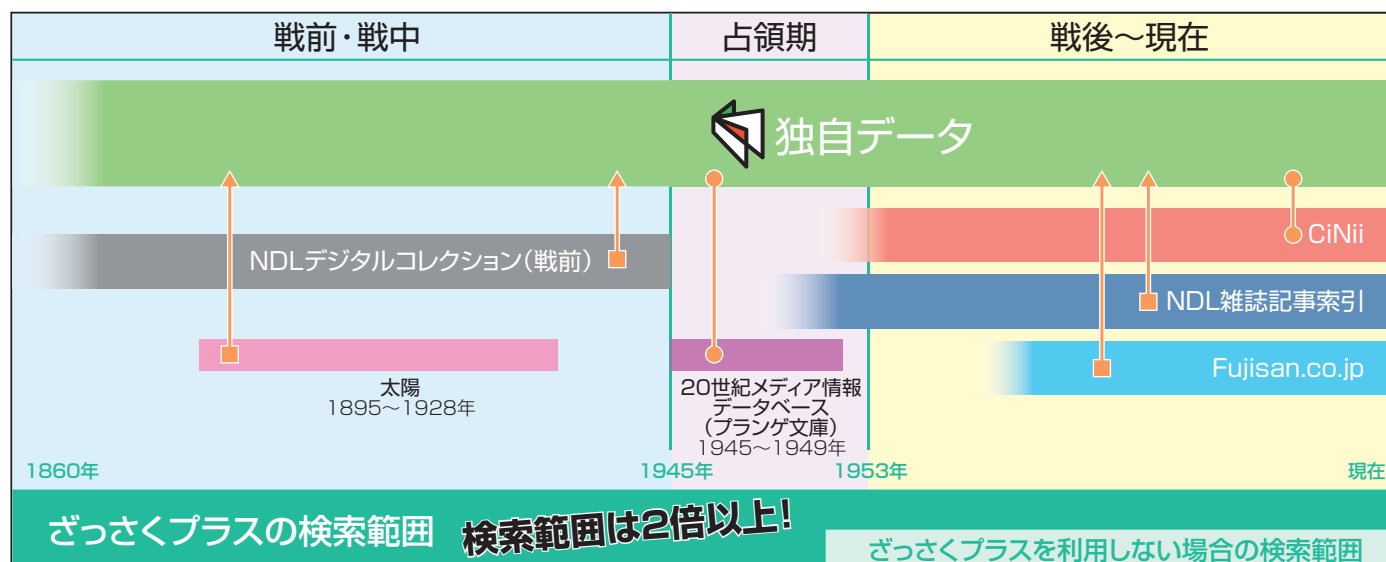
20世紀メディア情報
データベース

JapanKnowledge
「太陽」「東洋経済」「風俗画報」

Maruzen
eBookLibrary

ざっさくプラスを構成するデータ群

■ データ提供 ● 連携



多様なデータベースとの連携で、明治初期から現代まで時代の切れ目なく、約 160 年間に書かれた雑誌記事・論文が検索可能です。2025 年現在、実装データ件数は約 2,900 万件を超え、最大連携時の検索可能データ件数は 3,300 万件以上です。

主な雑誌記事検索データベースの得意範囲

	戦前・戦中雑誌		3 占領期 (1945～1949)	戦後雑誌		
	1 戦前独自(地方誌含)	2 NDLデジコレ雑誌		4 NDL雑誌記事索引	5 戦後独自(地方誌含)	6 一般・娯楽・サブカル
ざっさくプラス	◎	◎	◎	◎	◎	◎
CiNii				○	◎	○
NDL		○		○	◎	
某商用DB		○		○	○	○
Web OYA						◎
20thDB			◎			

ざっさくプラス登載データ ざっさくプラス検索可能範囲

- ざっさくプラスは、この分野の雑誌を検索する DB として誕生しました。日本に雑誌というメディアが出現した明治初期からのデータを重点的に集載しているのはざっさくプラスだけ。
- NDLがデジタル化した雑誌のうち、戦前に刊行されたものの目次データです。ざっさくプラスはこのDBの目次を大幅に増補して登載しています。
- 20 世紀メディア情報データベースは、占領期に特化した唯一の DB です。ざっさくプラスはこのDBの雑誌部門と連携しています。
- 各民間の商用 DB 及び CiNii はこの NDL データの提供を受けています。よって、そこに上乗せる独自データ 2 ～ 6 が、それぞれの DB の特徴を分けます。
さらに、4 は、不定期で採録基準の見直しを行います。そのため(刊行)途中で採録が開始されたり、逆に中止になったり、再開したりします。
ざっさくプラスでは、その空白期のデータを独自に作成しています。
- ざっさくプラスでは CiNii と連携しつつ、独自に登載した地方誌の目次等も検索可能です。
- この分野は大宅壮一文庫の独壇場。雑誌販売サイト「Fujisan.co.jp」にも蓄積があります。

デジコレがあれば十分?～国会図書館の戦前雑誌所蔵率～

2022 年末に、NDL デジタルコレクションが大リニューアルしました。戦前の資料調査も画期的に便利になりましたが、デジコレがあれば十分……というわけではありません。

NDL 副館長であった田中久徳の論文、「旧帝国図書館の和雑誌収集をめぐる『雑誌』メディアと納本制度―」（『参考書誌研究』36 号 1989 年 8 月）によれば、当時発行されていた新聞・雑誌の総数 2 万点に対して、旧帝国図書館の所蔵は 1263 タイトル、所蔵率はわずか 6.3% とされています。NDL は旧帝国図書館の蔵書を引き継いで開館していますので、やはり戦前の雑誌の所蔵率はこれに準じることになります。そして NDL 未所蔵の資料はそもそもデジタル化も索引作成もされません。

戦前の雑誌は過去の資料ですから、物理的には有限ですが、現実的にはまだまだ無限にあると言えるでしょう。ざっさくプラスは、国会図書館にないものも含めてこれらの雑誌を登録し、日本の多様な雑誌を可能な限り網羅的に、もれなく調べられるデータベースを目指しています。

調査・研究に
役立つ!



雑誌記事索引データベース

ざっさくプラス

使い方ガイド

～検索から記事の入手まで～

ざっさくプラスは、様々な本文画像閲覧サービスと、積極的に連携しています。ざっさくプラスと連携先の当該タイトルを両方契約している場合、ざっさくプラスの検索結果から、雑誌の本文ページへ、ダイレクトに遷移することができます。

1 基本の使い方

雑誌記事索引データベース
ざっさくプラス
総合雑誌から地方誌まで、明治から現在まで
The Complete Database for Japanese Magazine and Periodicals from Meiji Era to the Present.

検索記事
総数
20世紀メディア情報DB連携時 31,4
20世紀メディア情報DB非連携時 29,5

簡易検索 詳細検索 図版検索

後藤新平

表示件数 ☒ 20件 ☐ 50件 ☐ 100件

☐ CiNiiと連携する

検索の方法は3種類。「簡易検索」「詳細検索」「図版検索」です。

「簡易検索」は、ざっさくプラスのなかに含まれている全てのデータのうち「記事タイトル/論題」と「著者名」を検索します。

例えば、政治家の「後藤新平」で検索した場合、「後藤新平について書かれた記事や論文」と「後藤新平が書いた文章」を同時に検索します。

「まずはテーマに関わる記事や論文を、網羅的に探したい」という場合は、「簡易検索」を使いましょう。

検索ボックスにキーワードを入れて、「検索」ボタンを押します。

CiNiiと連携検索をする場合は、チェックボックスをオンにします。

用字用語の変遷に対応する独自の用語集を構築しています。例えば「蘇聯」「ソ同盟」「ソウェート」なども「ソ連」、「加奈陀」も「カナダ」と入力することで検索できます。雑誌『白樺』では、ゴッホは「ゴオホ」と表記されていますが、「ゴッホ」と入力すれば一緒にヒットします。

2 「検索結果画面」の見方

「後藤新平」の検索結果一覧

総件数: 1,178件 表示速度 0.4930秒

1 2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22

23

24

25

26

27

28

29

30

31

32

33

34

35

36

37

38

39

40

41

42

43

44

45

46

47

48

49

50

51

52

53

54

55

56

57

58

59

60

61

62

63

64

65

66

67

68

69

70

71

72

73

74

75

76

77

78

79

80

81

82

83

84

85

86

87

88

89

90

91

92

93

94

95

96

97

98

99

100

101

102

103

104

105

106

107

108

109

110

111

112

113

114

115

116

117

118

119

120

121

122

123

124

125

126

127

128

129

130

131

132

133

134

135

136

137

138

139

140

141

142

143

144

145

146

147

148

149

150

151

152

153

154

155

156

157

158

159

160

161

162

163

164

165

166

167

168

169

170

171

172

173

174

175

176

177

178

- 1 検索結果は刊行年で昇順に表示されます。
- 2 記事名の前のマークから、データの出典がわかります。

CiNii Articles (赤いグラフ)
 Maruzen eBook Library (Mel) (緑のグラフ)
 ざっさくプラス独自本文画像 (緑のグラフ)
 J-DAC (緑のグラフ)
 JK= JapanKnowledge (緑のグラフ)
 E= EBSCO eBooks (緑のグラフ)
 NDL デジタルコレクション (灰色のグラフ)
 JS= J-STAGE (桃色のグラフ)
 朝鮮語雑誌 (黄色のグラフ)
 20 = 20世紀メディア情報データベース (紫のグラフ)
 F= Fujisan.co.jp (水色のグラフ)
※無印は独自データおよび NDL 雑誌記事索引データ

- 3 本文が閲覧できる記事には、「本文ナビ」「本文リンク」のマークがつきます。
- 4 グラフが表示されます。縦軸はヒットした記事数、横軸は書かれた年を表します。データの出典により、グラフの色が異なります。ざっさくプラス独自データは緑色のグラフで表示されます。グラフをクリックすると、該当する年の記事の一覧ページに遷移します。
- 5 グラフ上部の、年号部分の両端にあるバーを動かすと、グラフの年代範囲を絞り込めます。
- 6 色のアイコンをクリックすると、そのデータベースのグラフが消えます。2・4と組み合わせるとスムーズに絞り込みができます。また、右端のアイコンをクリックすると、グラフの画像をダウンロードすることができます。
- 7 右側の空欄にチェックを入れてページ下の（選択した記事をダウンロード）を押すと .csv データがダウンロードできます。



本文連携タイトル一覧

ざっさくプラス独自本文画像

「みくに」1935～1943
「教室童話」1944～1945
「滑稽風雅新誌」1878～1880
「吾妻新誌」1883～1886
「現株世界」1919
「日本之青果」1922

J-DAC 社会文化史データベース

「性風俗稀少雑誌コレクション」
「日本心霊」(1915～1939年)(人文書院)

ジャパナレッジ JKBooks

「太陽」(日本近代文学館・八木書店)
「東洋経済新報」「週刊東洋経済」(東洋経済新報社)
「風俗画報」(ゆまに書房)

Maruzen eBook Library

「映画芸術研究」1933～1935 (ゆまに書房)
「文化映画研究」1938～1940 (〃)
「マンガ研究」2009～2024 (〃)
「内閣調査室海外関係資料 焦点」1961～1965 (〃)
「満洲グラフ」1933～1944 (〃)
「国際女性」1946～1947 (金沢文庫閣)
「學の鏡」1897～2018年
「思想」1921～1949 (岩波書店)
「日本語文法」2001～ (くろしお出版)
「大法輪」1941～2020 (大法輪閣)
「日本美術新聞」「美術通信」「日刊美術通信」「美術文化新聞」
1932～1949 (ゆまに書房)

「子供の世紀」1923～1944 (六花出版)
「私設社会事業」1933～1943 (〃)
「漫画—見る時局雑誌—」1968～1917 (かなえ)
「国際写真情報」1922～1968 (〃)
「毎日グラフ」1948～1962 (〃)
「演芸と映画」1926～1930 (かし)
「皇族画報」1908～1934 (〃)
「国際写真タイムス」1925～1946 (〃)
「世界画報」1946～1950 (〃)
「婦人畫報」1905～1907 (〃)
「明六雑誌」1874～1875 (大空社)

今後継続々追加していきます！

3 「記事情報」から本文へ！

詳細情報

論 題	◇『いよいよ訪露を執行した後藤新平』
掲載誌	国際写真情報
巻 号	1928年1月号
刊行年月日	1928-01-01
掲載頁	52
書誌所蔵情報	CiNii Booksで検索
本文へのナビ	Maruzen eBook Library ※リンク先は外部サービスです。本文閲覧には、別途、利用契約が必要な場合がございます。
出典	『国際写真情報』1922年8月号(1922年8月)～1968年6月号(1968年6月) [かなえ／丸善雄松堂提供]
購入	日本の古本屋で買う

データ提供・協力

このデータは、次の方々のご協力を得て掲載いたしました。

協力: [かなえ／丸善雄松堂株式会社](#)



Maruzen eBook Library 内の「国際写真情報」。
かなえより複製版も刊行中。

記事タイトルをクリックすると、詳細情報画面が開きます。
詳細情報画面では、掲載誌や刊行年月日の他、掲載頁や出版社を確認できます。

この情報を元に、掲載誌を探しましょう。

「本文へのナビ」欄にリンクが記載されている場合、リンクをクリックすると連携先に遷移し、画面上で本文を読むことができます。

CiNii Research や J-STAGE 由来の記事には、本文を閲覧できる場合もあります。

また、国立国会図書館 (NDL) のデジタル化資料送信サービスや遠隔複写サービスを利用して本文を入手することもできます。(NDL への利用者登録が必要です)

資料の現物を探す場合は、「書誌所蔵情報」欄から CiNii Research の検索結果画面に遷移し、所蔵情報を調べます。探している巻号の所蔵をしっかりと確かめ、各施設に出向いたり、取り寄せたり、遠隔複写を依頼したりして文献を入手しましょう。「購入」欄をクリックして、「日本の古本屋」で古書を探すこともできます。

※本文連携データと、従来の「目録」由来のデータが並存しているため、同じ記事に対して、由来の異なる 2 つ以上の書誌が存在している場合があります。

※本文連携対象の雑誌を購入されていない場合でも、目次の検索は可能です。



雑誌記事索引データベース

ざっさくプラスを推薦します！

新たな研究の予感

紅野謙介（日本近代文学館理事）

日本の近現代はおびただしい数、種類の雑誌群によって支えられてきた。この雑誌こそ、文学や歴史を研究するものにとって最大の資源である。そのために多くの復刻が出て、総目次も作られたものもある。しかし、その横断検索となると、各自が勘をたよりに努力するほかなかった。「ざっさくプラス」はその雑誌記事索引を集成したデータベースである。たとえば、岡千代彦という印刷工組合の運動家について検索してみた。国会図書館の雑誌記事索引では結果は0。しかし、こちらでは8件。復刻のある『新社会』（売文社）の埋め草記事はむろん、消息記事、『印刷雑誌』の雑報に載った名前もあがってくる。亡くなる直前に岡が書いたエッセイが尾崎一雄、尾崎士郎らが編集した小さな文芸誌『風報』に載ったと出て来る。このつながりまではさすがに気づかない。こうした検索がここでは可能なのだ。いま登録記事の数は2900万件を超えたという。おそらく今後も増え続けるだろう。民間の出版社によって実現されつつあるこの未完のプロジェクトこそ、近代日本の歴史・文学・文化を研究するものにとって新しい可能性を開くものになると確信する。

プラスアルファ

「+α」の文献調査を求める人に勧める

小林昌樹（近代出版研究所所長、
元国立国会図書館司書）

調べもの＝記事を見つけること、だと思っている。一方で、記事そのものを見つける前に、記事情報というか論文書誌を見つけるほうを優先させるべき、とも思っている。記事自体は著作権など諸事情で秘されがちだが、記事情報は常におおやけだからだ。よい調査は、記事情報をできるだけ広く探すことから始まる。

この「できるだけ広く」で日本一なのがざっさくプラスだ。前職場の国会図書館で来館者に質問されると、最初に検索していたのがざっさくプラスだった。

「プラス」たる所以はどこか。国会図書館が1949年からやってきた（元祖？）雑誌記事索引の取りこぼし、いわく未納本の欠号、いわく雑誌がいちばんオモシロい初期の号といったところをすくっているところが一つ。さらに1970年代以降に盛んに出た重要雑誌の復刻版、その総目次が入っており、これを取りこぼすと恥づかしい。さらにまた、戦前のいろいろな専門書誌から記事データを入れており、明治から戦前のデータでは日本一だと思う。これらの記事情報が内容的なプラスアルファである。

元祖雑誌記事索引やJ-STAGE、国会図書館のデジタルコレクション（の雑誌記事）など、今の雑索データベースも一括して引けるといった連携機能もありがたい。検索ごとに自動生成される年代分布の棒グラフも、それ自体面白いし、常に検索対象の時代感覚を直観できるので、検索戦略の練り直しにも役に立つ。これらが機能的なプラスアルファ。

国会図書館やNIIのデータベースを引くのはあたりまえ。プラスアルファを引いて「お、こやつできるな」と思わせるような文献調査に乗り出したい。

基礎調査の必須ツール 谷口英理（独立行政法人国立美術館 国立アートリサーチセンター主任研究員）

近代日本美術史という専門柄、明治期～昭和戦前期に発表された文献を漁る必要があるため、戦前期の文献のヒット率が高い「ざっさくプラス」は必須ツールです。NDLデータとCiNiiデータ等、外部のデータベースとの連携により最新の研究論文から同時代文献までを簡単に調べることができることもあって、新しい研究テーマにとりかかる際の基礎調査には必ず利用しています。しばしば自分の専門分野以外の雑誌に掲載された文献との出会いをもたらしてくれるところも、「ざっさくプラス」の素晴らしいところです。以前、某美術批評家の基礎資料集の編纂をしていた際に、その批評家がまだ美術批評を始める前の若い頃に発表した文芸評論を発見することがありました。全くチェックしていなかった文芸誌に掲載された文献だったので、「ざっさくプラス」がなければ見逃していたと思います。個人的には「明治・大正・昭和前期雑誌記事データベース」（実験版）のころからの愛用者ですが、近年、所属先の独立行政法人国立美術館7館でも導入させていただき、各館附属ライブラリー等で利用できるようにいたしました。法人内の研究員も、展覧会準備のための調査等に有効活用しております。今後も、採録雑誌のさらなる充実や機能の拡充を図っていただけることを期待します。

データベース百花繚乱の時代に、網を張る 尾崎名津子（日本近現代文学、立教大学准教授）

DB（データベース）やデジタルアーカイブの世界は日進月歩ではありますが、対象となる資料や目的はそれぞれですから、構築のセオリーもまたそれぞれ、当然ながらプラットフォームも異なるので、操作方法もそれぞれとなり、使用者は各 DB の癖をわかっていないとなかなか使いこなせない。「ざっさくプラス」は DB やアーカイブ自体を横断的に網羅しているので、これらの「縦糸」を束ねる「横糸」として機能します。さらに、新たな独自データを日々投入しながら進化する DB で、その様子は皓星社の SNS アカウントで随時報告されます。以上、ただの説明になりましたが、「縦糸」が増えすぎて困っている方におすすめします。自分なりの網（布でもいいですが）を編みたい（織りたい）方にも同様です。

「ざっさくプラス」で天下を取れ

神保町のオタ（在野研究者）@jyunku

「ざっさくプラス」で「空飛ぶ円盤」と「UFO」を検索すると、グラフ表示により用例が1947年初出の前者から後者へ1978年頃を境に移行したことが分かる。もちろん同年に日本レコード大賞を受賞したピンク・レディー「UFO」の影響だろう。このように用語の出現時期、変遷の調査に使える。

更に特に国会図書館が所蔵していない珍しい雑誌、変わった雑誌の調査に役立つ。いずれ「なんだ国会図書館デジタルコレクションで見られる資料しか使っていない研究か」と揶揄される時代が来る。そこで、「ざっさくプラス」の出番となる。私は『洛味』（洛味社）や『ピラミッドの友』（近代ピラミッド協会）の一部を提供したので、いずれ目次が掲載されるだろう。前者は京都学の、後者は日本オカルティズム史の研究に欠かせない資料である。アカデミズムの研究者だけではなく、在野研究者、好事家もいち早く使えば大発見のできるツールである。

レポートや卒業論文、研究から趣味の調べ物まで

村田亮太（趣味人）

大学3年生だった2020年、新型コロナウイルスの感染拡大によって、大学はリモート講義になり、図書館にも気軽に行けなくなりました。そんな時、Twitterでこの「ざっさくプラス」が無償で公開されると知り、物は試しと使ってみました。専門にしていた民俗学史に関係ある言葉から「民俗」や「土俗」、「郷土」といった単語を入れてみると、それまでまったく知らなかった文献が数多くヒットし、まだまだ未開拓だった資料群の存在に気が付きしました。その後もレポートや卒業論文、資料探索やネタ探しの為、「ざっさくプラス」を何度も使い、そして卒業した今でも調べ物で愛用しています。ざっさくプラスは既存のDBではカバーしていない分野の雑誌や小規模な雑誌を幅広くカバーしており、そして今なお増え続けています。趣味的な調べ物からしっかりした研究まで、文献調査のお供となるツールです。

ざっさくプラスの使用事例を多数紹介！ 小林昌樹の本

調べる技術

国会図書館秘伝のレファレンス・チップス

原稿チェックや論文執筆、仕事でも趣味でもちょっとした「調べもの」をする際に、キチンと答えを出すにはどうすればよいのか？ 元国会図書館員の著者が、「調べもの」の考え方や予備知識、さまざまなコツをわかりやすく解説。

A5判並製・184頁・2000円＋税 2022年12月・978-4-7744-0776-0

もっと調べる技術

国会図書館秘伝のレファレンス・チップス2

『調べる技術』待望の続編！ 本の探し方、人（現代人・アイドル）や言葉（流行りすたりや来歴）の調べ方、無料のWEBツール（国会図書館サーチ、国会図書館デジタルコレクション）の使い方などをわかりやすく解説する。 A5判並製・218頁・2000円＋税 2024年6月・978-4-7744-0832-3





雑誌記事索引データベース

ざっさくプラスで検索できる！ 雑誌の復刻版

研究上有益であるにも関わらず、原本の所蔵先が分散していたり散逸してしまい、調査が難しい雑誌が各出版社から多数復刻されています。ざっさくプラスでは、それらの復刻版出版社と連携し、目次の掲載に取り組んでいます。電子版が刊行されているタイトルについては、連携して本文閲覧も可能です（別途契約が必要です）。今後も順次追加予定！



電子あり

季刊 映画研究

1941年7月～1942年12月、戦時統制下で唯一の映画研究誌。「武器としての日本映画」を志向した映画研究の問題と全体像が明らかになる。編集兼発行人の滋野辰彦をはじめ、北川冬彦・飯田心美・今村太平・長江道太郎・飯島正・伊丹万作・宮島義勇・三木茂などが執筆。全3巻 B5上製
監修・解説 富田美香（国立映画アーカイブ主任研究員）
解説・解題・総目次 三上聡太（立命館大学客員研究員）
ISBN 978-4-8433-6518-2

学術図書・復刻出版
不二出版



情況

第1次(1968年8月～1976年12月) 1960～70年代の学生闘争・社会闘争の中心的役割を果たした、〈知〉と〈運動〉の総合誌。主要執筆陣は、廣松渉・吉本隆明・秋山清・石牟礼道子・金達寿・武田泰淳・柄谷行人・海老坂武・最首悟・太田竜ら。
全36巻・別冊1（解説・回想・総目次・索引）
A5判・上製・総約17200頁
分売可 ISBN 978-4-8350-8493-0

六花出版
Rikka Press



婦人のこえ

労働省婦人少年局長を辞した山川菊栄が、志を共にする女性たちと発刊。平和と民主主義、労働問題、女性の権利拡大、教育、貧困問題……「本当の民主主義」を希求する女たちの熱い議論を掲載した雑誌。
解説 鈴木裕子
推薦 水溜真由美・林葉子
全8巻 A5判・上製・総3254ページ
ISBN978-4-86617-252-1

琥珀書房



東亜芸術

明治期の西欧偏重の美術界の在り方が問い直され、首都では東京大正博覧会が盛況をあげるなか、近代以降の東洋の伝統に立脚した様々な芸術がなおざりにされていく現状に異を唱えた雑誌。主筆は倉林蠻山。主要執筆陣は荒木十畝・伊東忠太・巖谷小波ほか。
解説：戦曉梅（国際日本文化研究センター）
推薦：菅野智明（筑波大学）・西川貴子（同志社大学）
A5判並製、全7冊＋別冊（解説・総目次・執筆者索）、総約700頁
ISBN 978-4-910993-29-4

皓星社のデータベース

2026年4月リリース



人物情報データベース
じんぶつプラス

日本全国から旧植民地まで、著名人からあなたのルートまで

人物叢伝類を全文検索できるデータベースを構築中！

『日本人物情報体系』（弊社刊、全100巻）をはじめ、人物叢伝類、列伝を全文検索できるデータベース。
WEBの単純な検索だけでは情報がでてこない人物を探せるデータベースを目指し、鋭意構築中！

— 閉鎖するデータベースのデータ、お引き受けします —

皓星社は、閉鎖予定のデータベースのデータを引き取り、続けて公開しております。かねてより、図書館関係者の方から「科研で作られたデータベースで、非常に有益なものなのに、教授の退官時や公開サイトの閉鎖時に消滅してしまうものが多い」という声を聞いておりました。そうしたデータを消さず、拾い上げたいと考えています。詳細はお問い合わせください。

2022年11月25日公開

日本の参考図書 WEB版

明治以降、2011年までに出版された、
35,000冊のレファレンス・ブックを検索！

無料

<https://www.jrb-db.org/>

明治以降、2011年までに刊行された35,000点以上の参考図書を検索できるデータベース。書名や著者名はもちろんのこと、解題書誌のキーワードやNDCからも検索できます（日本図書館協会より維持管理を受託し提供中）。

お問い合わせは以下メールアドレス、または総代理店まで。

株式会社
皓星社

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-10 宝栄ビル6階
TEL: 03-6272-9330 FAX: 03-6272-9921
E-mail: zassaku-plus@libro-koseisha.co.jp
HP: <http://www.libro-koseisha.co.jp/>

【取扱】



MARUZEN-YUSHODO

丸善雄松堂株式会社